

組立て方法

- 1 ⑫前・中間用脚セットには⑬ベースゴムの凸部の向きに注意して組付け、⑬後用脚セットには⑭ゴムシートを貼ります。〔図-1〕
⑪脚ステーと⑫脚セットを下の図の位置に合わせて仮組付けをします。〔図-2〕

△注意 車両に取付ける際に角度調整を行う為、必ず⑫キャップボルトM8は仮組付けの状態にしてください。

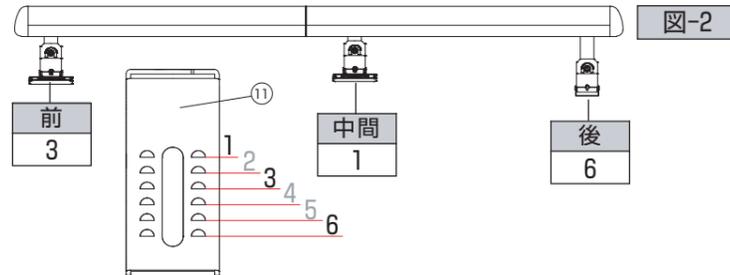


図-1

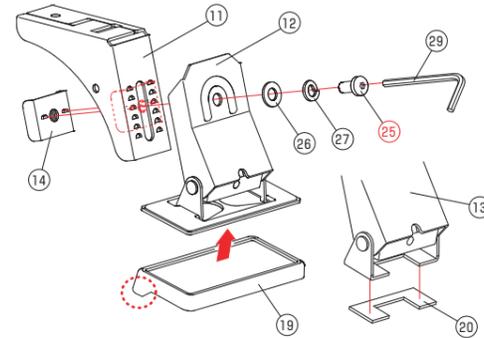


図-3

- 2 ⑧脚フレームに②ナットプレートを通します。⑪脚ステーの裏に⑮ステープレート長の向きに注意してかませ、⑫キャップボルトセットM6にて下記寸法に従って仮組付けをします。〔図-3・4〕

△注意 車両に取付ける際に角度調整を行う為、必ず⑫キャップボルトセットM6は仮組付けの状態にしてください。

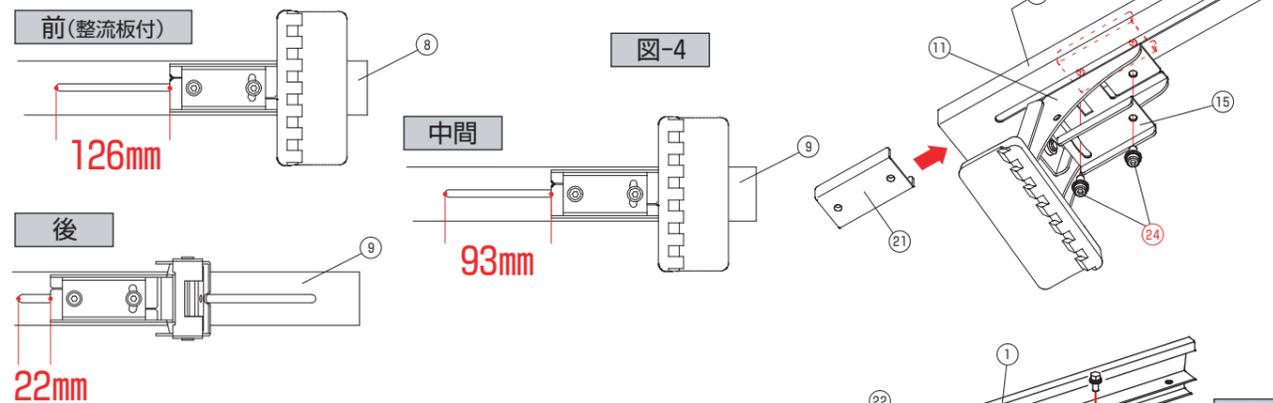


図-4

- 3 ①②サイドフレーム短(前/左右)に「2」で組立てた「前」用脚フレームセット(整流板付)と⑩荷台フレームを⑫六角ボルトセットM6で組付け、①②サイドフレーム先端に⑤⑥先端キャップ(R/L)をはめ込み下から⑫タッピングビス5ミリで固定します。〔図-5〕

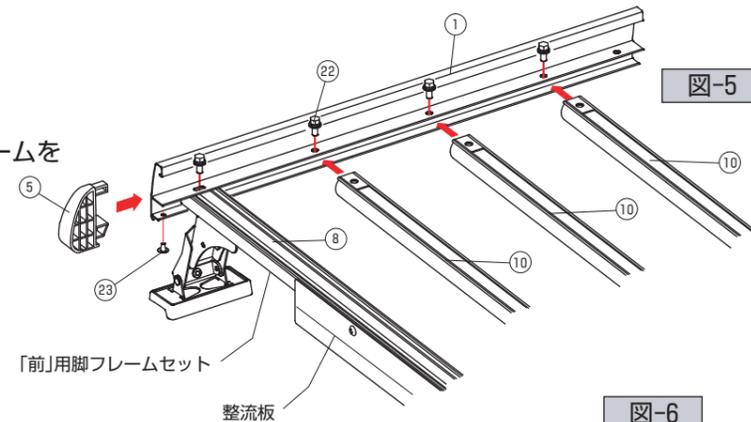


図-5

- 4 「3」同様に③④サイドフレーム長(後/左右)に「2」で組立てた「中間」及び「後」の脚フレームセットと⑩荷台フレームを⑫六角ボルトセットM6で組付け、③④サイドフレーム先端に⑤⑥先端キャップ(R/L)をはめ込み、下から⑫タッピングビス5ミリで固定します。〔図-6〕

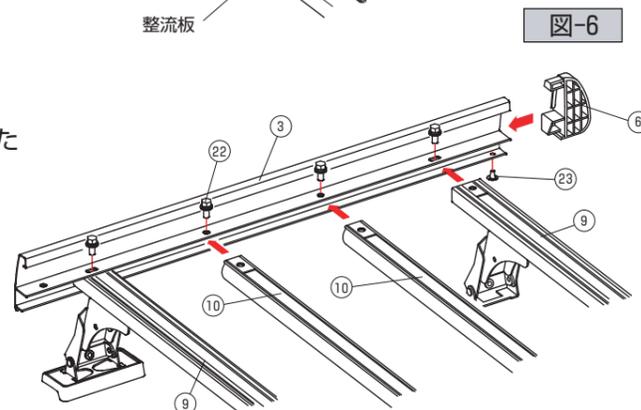


図-6

- 5 「3・4」で組立てた前枠用と中間・後用枠を⑦ジョイントにて結合させ、⑫六角ボルトセットM6でしっかりと固定します。〔図-7〕

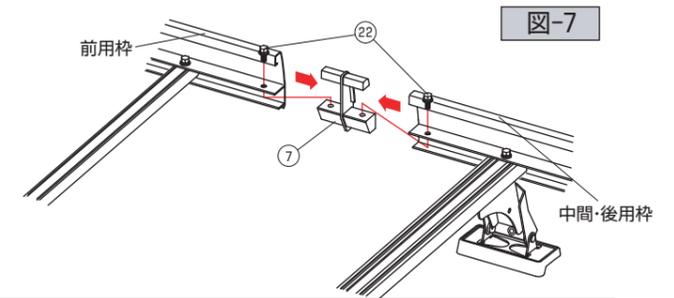


図-7

取付け方法

△注意 キャリアの取付け時は必ず2人以上で行ってください。ルーフのキズやヘコミ、キャリアの破損の防止になります。

- 1 車両のルーフモール後部にある2段モール上のキャップ(左右2ヶ所)をカッター等で取外します。取外す中に⑬後用取付フックを引っ掛ける為のブラケットが装備されています。〔図-8〕
2 ルーフ面の埃や汚れをきれいに拭き取った後、ゆっくりとキャリアをルーフの上に載せ、⑬後用脚セットの中心が先程取外したキャップ穴の中心にくるように前後の位置を合わせます。次に左右の脚の位置を確認します。〔前〕と〔中間〕はモールの内側のへりと⑬ベースゴムの凸部末端が同じラインになるように調整を行います。〔図-9-A〕
〔後〕は2段モール内側のルーフのへりから約12mmの所に⑬後用脚セットの可動ベースの末端がくるように調整を行います。〔図-9-B〕調整後、⑬ベースゴム及び⑬後用脚セットの可動ベースがルーフ面になじんでいる事を確認し、組立て方法「1」で仮組付け状態の⑫キャップボルトM8をしっかりと締付けてから、組立て方法「2」で仮組付け状態の⑫キャップボルトM6をしっかりと締付けます。
3 ⑬前用取付フックは〔前〕の脚セットへ、⑬中間用取付フックは〔中間〕の脚セットへ、フック上端を脚セットに当てがい〔A〕部を指で押さえながら⑫丸ネジセットM6にて左右均等に締付けます。〔図-10-A〕
⑬後用取付フックは〔後〕のキャップ穴下のブラケットの切込みにフック先端を引っ掛け、フック上端を脚セットへ当てがいゆっくりと確実に⑫丸ネジセットM6にて左右均等に締付けます。〔図-10-B〕

△注意 ⑫丸ネジセットM6を締付けていく際は⑬後用脚セットの可動ベースの末端が若干浮き上がる傾向があります。可動ベースが常にルーフ面と2段モールになじんだ状態であることを確認し浮き上がっている場合は可動ベースの角度を調節しながらゆっくり左右均等に締め付けを行ってください。

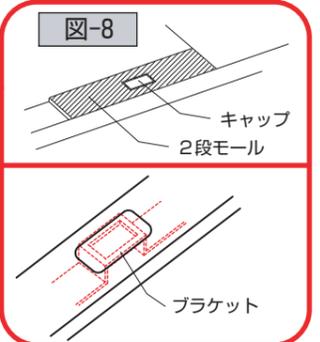


図-8

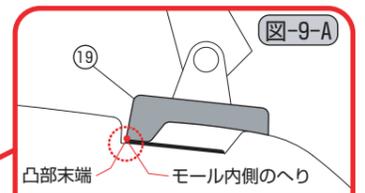


図-9-A

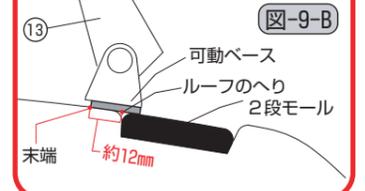


図-9-B

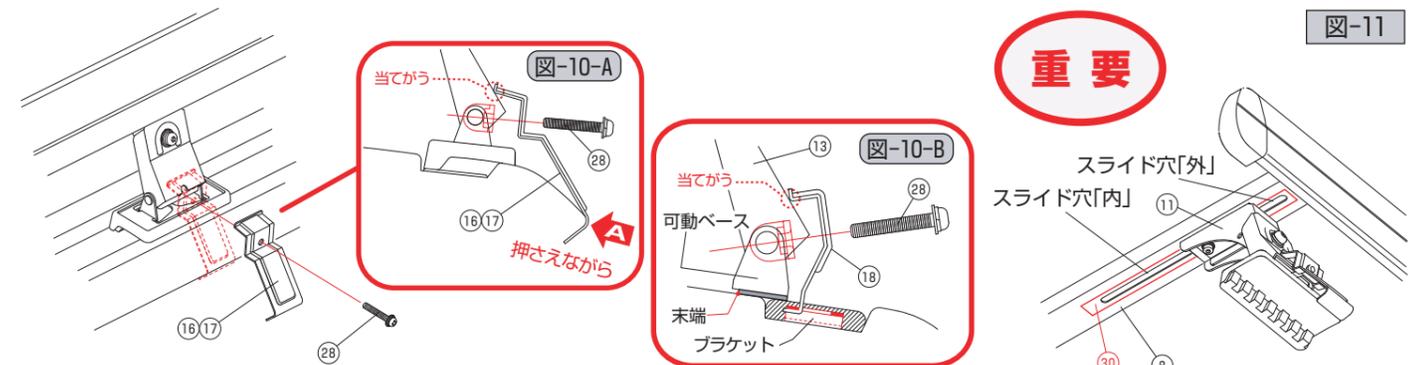


図-10

- 4 ⑧脚フレームのスライド穴を⑫塩ビテープにて塞ぎます。スライド穴は⑪脚ステーをまたいで「内」と「外」に分割されますので、⑫塩ビテープをカットして「内」と「外」全てのスライド穴を確実に塞いでください。〔図-11〕

△注意 この作業を怠ると走行時に笛を吹いたような異音が発生します。また雨天や洗車時に水が浸入するためサビ発生の原因になります。

重要

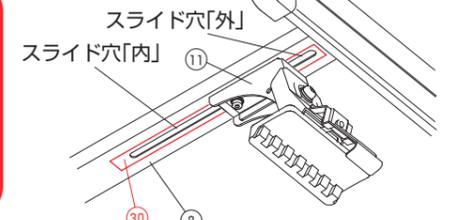


図-11

- 5 ⑪アンテナホルダーの片側の穴と「中間」の⑪脚ステーの横の穴に⑫六角ボルトセットM6を通し、⑪脚ステーの裏側から⑫平座金M6⑬バネ座金M6⑭六角ナットM6にて締付けます。締付け後、⑪アンテナホルダーを曲げてもう一つの穴にアンテナの先端を通し引っ掛けてください。〔図-12〕

- 6 最後にキャリアを前後左右に揺すりガタツキが無いことを確認してください。ガタツキがある場合は再度取付けをやり直してください。

△注意 長尺物を積載した状態でバックドアは絶対に開けないでください。バックドアがガラス面に当たり破損の原因になります。

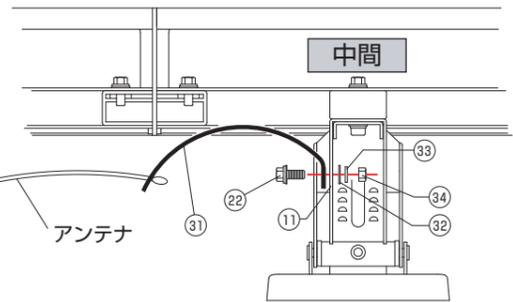


図-12